

2024 年度本部事務局事業報告書

— 出所者等の社会復帰支援に係る体制強化 —

2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日



〒810-0004

福岡県福岡市中央区渡辺通 1 丁目 10-1

(一社) ヒューマンハーバーそんとく塾

代表理事 副島 勲

1. 就労奨励準備金の支給

- (1)時期:通年
- (2)場所:福岡県福岡市内
- (3)対象者:全職親企業
- (4)内容:就労奨励準備金の適正支給

【実績】

実施期間:2024年4月1日~2025年3月31日

- 活用企業数:96社 262件(1社複数で活用有)
- 活用金額:27,573,327円(振込手数料含)
- 2024年4月19日 全国支部長会議にて周知広報
- 2025年4月21日 全国事務担当者説明会にて改正要綱を周知広報
- 職親プロジェクトホームページに規約・留意点・申請書等を掲載(ダウンロード可)
- 相談窓口を設定。随時対応。

<就労奨励準備金の支給 考察>

<成果>

就労準備等奨励金の活用について、全国事務担当者会議の開催や職親ホームページへの申請書等の掲載を行い、利用しやすい環境整備に努めたことで、96社(昨年度比44社増)262件(昨年度比170件増)の利用があった。このことは、職親プロジェクト参加企業への雇用が推進に大きく貢献したと言える。また、適正執行を行うため、申請内容の精査に務め、申請窓口を設置し丁寧に対応したことで、適正に支給することができた。

<課題>

活用予定数より活用企業が少なかったこととしては、職親対象者として応募資格のある受刑者・在院者が限定的であり、188名(前年比49名増)に留まったことにあると考えられる。また、1社の就労準備等奨励金の上限があることと、出所者・退院者を多数雇用している企業が少なく、求人は出しているが応募が無い企業も多くあることも原因であるとあると考える。次年度以降は、雇用実績のある企業数を増やす取り組みが必要であると考えられる。

2. 拠点事務局の運営管理及びサポート

- (1) 時期: 通年
- (2) 場所: 全国の矯正管区所管地域
- (3) 対象者: 九州事務局を除く各拠点事務局
- (4) 内容: 各拠点事務局の運営相談対応及び運営支援

【実績】

- 運営全体に関わる会議 6回(トップ会議 戦略会議 全国支部長会議他)
- 拠点事務局サポート サポート会議2回 相談随時
- 拠点づくり担当会議 12回(支部立ち上げのための戦略会議等)
- 各支部サポート 相談随時
- 全国の職親企業情報の収集とデータ管理システムを構築
- 参加企業情報及び新規企業登録数
 - ※2025年3月31日現在 職親登録企業 667社(前年度比273増)
- 職親対象者の雇用数等
 - 2024年3月31日現在 950名(11年間の雇用数)
 - 2024年4月1日~2025年3月31日(2025年度の雇用数)
 - 職親対象者 内定者 281名(前年比91名増)
 - 雇用者 188名(前年比49名増)
 - 退職者 109名(前年比59名増)
 - 職親対象外 内定者 124名(前年19名減)
 - (満期者、服役経験者) 雇用者 139名(前17名増)
 - 退職者 74名(前年24名増)
- 2024年4月19日 全国支部長会議にて職場定着の情報交換実施
- 各支部連絡会議にて職場定着の情報交換 (10支部×各2回=20回)
- 関東連絡会議2回 関西連絡会議2回
- 全国実践発表会 2月28日 東京
- 東京支部発足・日本財団職親プロジェクトシンポジウムに向けた会議等 4回

< 拠点事務局の運営管理及びサポート 考察 >

< 成果 >

2024年度、2025年度は、職親参加企業数1500社、雇用数4500名を目指して取り組む2.3年次のため、各事務局に関しては運営基盤が整い、運営サポートについては、随時の相談が多くなり、会議の開催は少なくなり、拠点事務が機能して活動を推進していくことができるようになった。その結果1500社を達成した。また、VRを使った職業訓練やメタバースを使った仕事フォー

ラムなど新しい取り組みについても、拠点事務拠点へのサポートし活動推進を行い、拠点事務局を中心とした活動が広がることができた。さらに、助成金申請など事務手続きについては、各事務局と共通理解を深める必要があり、丁寧会議を行うことで次年度につながる取り組みを進めることができた。

<課題>

関東事務局及び関西事務局に所属する職親企業における個別の課題については、本部事務局に直接相談されるケースが目立っていた。対象者の雇用や対応についての相談が多く、今後は、各事務局が所属の職親企業からの相談に応じられるよう、相談窓口の設置、研修会の実施などを本部事務局主導で開催し、各事務局の機能を高める必要があると考える。

<活動実績>

2024年

- 6月10日 名古屋矯正管区説明会
- 6月18日 職業斡旋業講習会
- 7月16日 全国支部長会議(リモート)
- 8月5日 職親次年度予算会議(臨時トップ会議)千房(株)会議室にて
- 9月4日 職親次年度予算会議(zoom)
- 9月26日 拡大トップ会議(日本財団ビル)
- 10月7日 コレワーク中国・九州 VR 講習
- 10月8日 法務省鈴木さん、アンケート打合せ
- 10月23日 関東連絡会議
- 11月19日 関西連絡会議
- 1月24日 全国支部長会議(リモート)
- 2月17日 全国実践発表会打合せ(リモート)
- 2月20日 関東連絡会議
- 2月28日 全国実践発表会
- 3月3日 助成金予算打合せ(関西)
- 3月3日 助成金予算打合せ(関西)

2025年

- 4月3日 関東事務局職員研修(~4/15まで)
- 4月18日 全国支部長会議(東京都) 参加13支部 日本財団 各事務局
- 4月19日 関東地区教育支援(東京都)5社3団体10名参加
- 4月21日 全国事務担当者説明会(リモート)
- 4月23日 拠点づくり会議(リモート)
- 5月26日 職親PJトップ会議(リモート)

5月28日 職親関西連絡会議(大阪市)68社40団体参加
5月29日 山梨県 職親企業説明会(甲府市)6社5団体参加
6月2日 拠点づくり会議(リモート)
6月17日 東京支部発足打合せ(リモート)
6月23日 関東連絡会議(東京都)23社16団体参加
7月8日 東京支部打ち合わせ
7月16日 職親戦略会議(リモート)
7月17日 関西事務局実践発表会打合せ(リモート)
7月22日 日本財団寄付金打合わせ(マネーフォワード)(リモート)
7月24日 職親説明 一順弥栄建設(福島県)(リモート)
8月18日 拠点づくり会議(リモート)
8月19日 東京支部打ち合わせ(リモート)
8月26日 2026年度職親プロジェクト方針打合せ(リモート)
8月27日 関西連絡会議(大阪市)参加 176名参加
9月5日 山梨支部発足式(甲府市)127名参加
9月16日 拠点づくり会議(リモート)
9月19日 京都支部発足式(京都市)78名参加 サポート
9月25日 東京支部発足式 サポート
9月26日 長野支部発足準備会(長野市)8企業10名参加 サポート
11月4日 拠点づくり会議 参加
11月7日 埼玉支部発足式 サポート
12月8日 拠点づくり会議 参加
1月6日 関東事務局メタバース仕事フォーラム事前説明会の打合せ
1月9日 関東事務局メタバース仕事フォーラム事前説明会
2月6日 関東連絡会議参加
2月13日 滋賀支部発足式参加 サポート
2月17日 関西連絡会議参加
2月19日 トップ会議(東京)主催
3月13日 長野支部発足式 サポート
3月17日 関東事務局代表来塾面談

3.5 拠点(北海道、東北、東海、中国、四国)開設のための計画・伴走支援・運営支援

- (1)時期:通年
- (2)場所:北海道、東北、東海、中国及び四国
- (3)対象者:5 拠点に所在地がある企業・団体
- (4)内容:5 拠点レベルでの職親 PJ 賛同・参加希望企業の誘致と発足式の開催

【実績】

- 連絡会議等参加 北海道6回 東北3回 東海4回 中国7回 四国5回
- 相談サポート 随時

<成果>

昨年度までに立ち上がった支部の運営支援に力点をおいた取り組みと次年度以降の支部発足を目指した取り組みを重点的に行った。北海道支部、宮城支部、三重支部、岡山支部においては、連絡会議の開催や内容の充実をサポートし、参加職親企業の増加につながるとともに、各コレワークや矯正施設、保護観察所等との連携を深め、活動の幅を広げることができた。また、愛知支部、高知支部発足に向けては準備会を立ち上げ、発足を迎えることができた。

<課題>

8 矯正管区で、唯一支部が設置されていなかった四国地方について、愛媛県を中心に拠点づくりを進めていたが、参加企業数が伸び悩み、取り組みが進まなかった。原因としては、犯罪者に対する地域性の課題が大きく、趣旨に賛同はするが、雇用はできないという企業が多かった。その際に、香川、高知、徳島と他県への取り組みを早期に取り組みできなかったことが四国地方では 1 支部(高知)しか支部発足につながられなかった要因として挙げられる。

【活動実績】

○<北海道>

2024年

5月23日 北海道支部・宮城支部合同連絡会義で KSP 講演

8月28日 帯広刑務所授業視察(佐賀少年刑務所職場定指導)

12月6日 北海道支部連絡会議

2025年

6月25日北海道支部連絡会議(札幌市)25社13団体参加

○<東北>

2024年

3月24日 岩手支部発足準備企業研修

11月21日 宮城支部連絡会議

2025年

5月20日 宮城支部連絡会議(仙台市)26社12団体参加

10月7日 秋田支部準備会 サポート

11月19日 宮城支部連絡会議参加

1月30日 福島県職親説明((有)TK スチール)

○<東海>

2024年

6月21日 福井支部連絡会義出席

8月9日 愛知 暮らし応援ネットワーク(愛知県)職親参加説明(zoom)

10月28日 三重支部連絡会議

3月17日 愛知支部発足準備会

3月21日 三重支部連絡会議

2025年

8月29日 愛知支部立ち上げ準備会(名古屋市)13企業3施設参加

10月28日 三重支部連絡会議参加

11月26日 愛知支部発足式 サポート

11月26日 愛知支部発足式 サポート

○<中国>

2024年

4月26日 岡山連絡会義出席

6月17日 岡山支部長訪問

8月23日 岡山支部連絡会義出席

12月12日 岡山支部連絡会議

3月27日 岡山保護観察所訪問

2025年

4月7日 岡山保護観察所訪問

4月24日 岡山支部連絡会議(岡山市)参加23社12団体

6月20日 島根支部発足式(松江市)63名参加

8月7日 岡山保護観察所職親説明講演(岡山市)10企業参加

○<四国>

2024年

9月24日 愛媛県松山市訪問(株)エイサンご紹介 職親企業説明(4社)

3月24日 職親参加説明(リモート)高知県・井口農園

3月28日 職親参加説明(リモート)香川県・(株)ASアーセナル/(株)エイシン

2025年

5月12日 四国地域支部立ち上げ説明会(高知県)

7月11日 高知保護観察所訪問(高知市)

7月11日 高知支部発足準備会(高知市) 12社 18名参加

11月5日 コレワーク四国 職親説明 講演

11月14日 高知支部発足式 サポート

4. 拠点事務局の連携体制の構築及び実務サポート

(1)時期:通年

(2)場所:全国

(3)対象者:職親プロジェクト7拠点(九州事務局は除く)

(4)内容:拠点事務局連絡会議の開催等

【実績】

○2024年4月19日 全国支部長会議(関東開催)

○2024年7月16日 全国支部長会議(リモート)

○2025年4月18日 全国支部長会議(関東開催)

○2025年7月16日 戦略会議

○仕事フォーラム参加施設数 283施設(延数)

○仕事フォーラム参加企業数 962社(延数)

○メタバース仕事フォーラム開催に向けた準備会12回 開催6回

○教育支援 28回

<成果>

拠点事務局の連携を図るため、本部事務局拠点づくり幹事を5名依頼し、活動を強化した。さらに事務局間の横断的情報の共有を図るため、1カ月に1回の拠点づくり会議を開催し、情報の共有化と事務処理の共通化を図ることができた。その結果、約款や要項の見直しを行うとともに、統一した組織として活動するための指針を作ることができた。さらに、職親企業数、雇用数について正確な統計を取ることができ、課題や取り組みの方針をより戦略的に計画実施することができる

ようになった。また、仕事フォーラムについても、企業の参加情報を正確に集計した上で、矯正施設からの希望調査書をもとに、参加企業を選定していったことで一部の企業に偏った参加状況ではなく多くの企業に参加してもらえることができた。

また、教育支援については、大阪を中心に活用がひろがっており、教育支援の重要性が増してきた。さらに、東京、山梨、北海道、岡山での活用も検討されている。

<課題>

職親プロジェクトでは、地域性を活かした取り組みと全体で取り組むことが混在している面もあり、各拠点独自の取り組みが拠点を道府県のみでの取り組みになっていることも多い。そのため、国全体としての取り組みにしていくためにも更なる情報の共有と活動計画の立案のための十分な討議の場が必要である。また、仕事フォーラムの矯正施設から出される希望調査書の提出ルートが複雑なため、開催までに期間が短いこともあり十分な企業選定ができないケースも多かった。今後は、法務省と協議の上、開催までの流れを再検討する必要がある。

【活動実績】

2024年

- 4月9日 開放型刑務所設立打合せ(zoom)
- 4月18日 (株)ワライフ大木さんご来所(関東所属)
- 4月19日 全国支部長会議(関東開催)
- 4月30日 職親プロジェクト約款改定会議(zoom)
- 5月1日 拠点づくり会義(リモート)
- 5月17日 関西連絡会義出席
- 5月28日 トップ会議(リモート)
- 5月28日 メタバース打合せ(ネオキャリア・リモート)
- 5月29日 関東連絡会義出席
- 5月30日 拠点づくり
- 6月4日 東京支部発足に関する打合せ(zoom)
- 6月11日 メタバース打合せ(zoom・(株)ネオキャリア)
- 6月13日 メタバース打合せ(zoom・日本財団)
- 7月2日 拠点づくり会義(大阪)
- 7月16日 全国支部長会議(リモート)
- 7月18日 戦略会議
- 8月21日 拠点づくり会議(リモート)
- 8月22日 コレワーク近畿打合せ(zoom)
- 8月28日 関西連絡会義(台風にて参加中止)
- 8月29日 メタバース打合せ(zoom・日本財団)

- 9月2日 名古屋矯正管区授業視察(台風にて中止)
- 9月3日 コレワーク九州職員研修
- 9月3日 メタバース沖縄事前研修(コレワーク九州・各施設職員向け)
- 9月10日 拠点づくり会議(zoom)
- 9月20日 (株)NTT コノキュー訪問 VR・AR 体験
- 9月27日 メタバース打合せ(zoom・法務省矯正局・今垣さん)
- 11月1日 拠点づくり会議
- 11月6日 職親参加説明会(山口県光市保護司会主催)
- 11月12日 奈良支部就労支援セミナー(KSP 講演)
- 12月4日 日本財団打合せ(リモート)
- 12月5日 法務省矯正局メタバース仕事フォーラム打合せ(リモート)
- 12月19日 拠点づくり会議
- 1月9日 メタバース仕事フォーラム事前説明会コレワーク近畿
- 1月10日 メタバース仕事フォーラム事前説明会・西日本企業対象
- 1月14日 メタバース仕事フォーラム事前説明会コレワーク関東
- 1月15日 メタバース仕事フォーラム事前説明会・東日本企業対象
- 1月20日 職親参加説明訪問(広島県オタフクソース HD)
- 1月21日 地方創生研究会(名古屋矯正管区主催)
- 1月22日 地方創生研修会(名古屋矯正管区主催)
- 1月31日 全国メタバース仕事フォーラム東日本実施日
- 2月7日 全国メタバース仕事フォーラム西日本実施日
- 2月13日 メタバース仕事フォーラム事前説明会反省会(リモート)
- 3月11日 (株)ネオキャリア・メタバース打合せ(リモート)
- 3月13日 拠点づくり会議(リモート)
- 3月18日 奈良支部企業対象者相談
- 3月24日 開放型刑務打合せ(リモート)

2025年

- 4月8日 メタバース仕事 F 法務省打合せ
- 5月26日 法務省メタバース仕事 F 説明会(リモート)
- 6月19日 メタバース仕事 F コレワーク操作説明
- 11月17日 北海道メタバース事前説明会
- 11月18日 岡山広島島根メタバース仕事 F 開催日
- 11月28日 全国支部長会議 主催
- 11月28日 北海道メタバース仕事フォーラム開催日
- 1月6日 関東事務局メタバース仕事フォーラム事前説明会の打合せ
- 1月9日 関東事務局メタバース仕事フォーラム事前説明会

- 1月14日 秋田保護観察所訪問
- 1月14日 秋田支部発足準備会サポート
- 1月20日 関東事務局メタバース仕事フォーラム実施日 サポート
- 1月27日 関西事務局メタバース仕事フォーラム担当者説明会 サポート
- 1月29日 関西事務局メタバース仕事フォーラム事前企業説明会サポート
- 2月5日 関西事務局メタバース仕事フォーラム実施日
- 2月26日 関東コレワーク雇用セミナー

<教育支援活動実績>

2024年

- 4月2日、9日、16日、23日、30日教育支援 大阪(株)1010
- 7月20日 大阪 良心塾教育支援(関西所属企業)
- 9月7日 大阪 良心塾教育支援講演会(関西所属企業)
- 9月28日 大阪 良心塾教育支援(関西所属企業)
- 12月12日 大阪(株)良心塾教育相談(リモート)
- 12月21日 大阪(株)良心塾教育支援
- 2月16日 大阪(株)良心塾教育支援
- 2月22日 大阪(株)良心塾教育支援
- 3月20日 大阪(株)良心塾教育支援講座(リモート)
- 3月22日 関東教育支援

2025年

- 4月19日 関東地区教育支援(東京都)5社3団体10名参加
- 5月10日 関西教育支援実施(大阪市)5社7名参加
- 5月16日 関西教育支援打合せ(リモート)
- 5月22日 関東・関西教育支援研究会(リモート)
- 5月24日 関東教育支援実施(東京都)7社10名参加
- 5月31日 関西教育支援(リモート)7社10名参加
- 6月7日 関東教育支援実施(東京都)6社10名参加
- 6月14日 関西教育支援実施(大阪市)5社7名参加
- 6月23日 関東・関西教育支援研究会(リモート)
- 7月3日 関西教育支援打合せ(リモート)
- 7月12日 関東教育支援実施(東京都)6社10名参加
- 7月16日 職親戦略会議(リモート)
- 7月24日 関東・関西教育支援研究会(リモート)
- 7月26日 関西教育支援実施(大阪市)6名
- 8月4日 関西教育支援定例会(大阪市)8名参加

- 8月23日 大阪良心塾教育相談(大阪支部)2名
- 8月30日 関東教育支援実施(東京都)6企業1団体10名参加
- 9月20日 関西教育支援実施(大阪市)5企業7名参加
- 9月25日 東京支部発足式(東京都)427名参加
- 10月18日 大阪職親企業((株)良心塾)教育支援
- 11月1日 山梨職親企業教育支援
- 11月14日 大阪職親(良心塾)教育支援
- 11月29日 関東教育支援
- 12月6日 山梨職親教育支援
- 1月31日 大阪職親企業(良心塾)教育支援
- 2月14日 大阪職親企業(良心塾)教育支援
- 2月20日 帯広刑務所職場定着指導
- 3月20日 関東事務局教育支援
- 3月28日 大阪職親企業(りょうしん塾)職親企業研修

5. 職親参加企業数増加及び対象者の応募数増に向けた広報活動

- (1)時期:通年
- (2)場所:全国
- (3)対象者:職親企業及びび受刑者・入院者
- (4)内容:職親プロジェクトの企業向け及び受刑者・入院者向け広報活動

【実績】

- (1)職親PJの紹介用改編ポスター及びチラシ、PV、広報誌の作成(全国誌)配布
 - ・ポスターの郵送配布1,000枚(全国の矯正施設、矯正管区、職親関係団体)
 - ・「さしいれ Vr.2」1,000部制作配布(全国の矯正施設、矯正管区、職親関係団体)
- (2)新HPの随時更新と動画等の掲載
 - ・参加企業の登録、退会企業の削除、newsの掲載
- (3)職親PJへの参加・相談への窓口の周知と適正対応のための広報活動
 - ・ガイダンス、約款・要綱、就労準備奨励金等をホームページに掲載
 - ・問い合わせフォームからの相談・申し込み対応 135件
- (4)「塀のない刑務所」整備にむけた準備委員会の開催及び設計等準備(2025年3月に事業延長申請承認) 準備会・打ち合わせ会37回”

<成果>

2023 年度に作成したポスターの各施設や職親関係団体への配布及び、広報誌さしいれ Ver 2の制作配布を行ったことで、職親プロジェクトへの関心が高まり、職親参加企業の増加や刑務所入所者・少年院入院者に対する職親プロジェクトの周知も広がった。また、「開放型刑務所(塀のない刑務所)」の整備については、有識者会議を経て、実務的な会議を重ねることができた。

<課題>

塀のない刑務所の整備については、事業延長をして取り組んだが、関係機関との話し合いが進まない面もあり、十分な成果を上げたとは言いきれない面があった。今後は、「塀のない刑務所」の整備に向けた取り組みを加速していく必要があると考える。

【活動実績】

2024 年

- 4月2日 職親 HP 打合せ ハートウェブ石川さんご来所
- 4月23日 日本財団福田様ご紹介ライターさんご来所 HP 打合せ
- 5月2日 ポスター送付手配
- 5月2日 職親 HP 作成打合せ
- 6月12日 「さしいれ」全国版 vol.2 打合せ(zoom・(社)チーム・ヒューマンコメディ)
- 6月20日 第1回開放型刑務所整備に向けた研究会参加
- 6月27日 第2回開放型刑務所整備に向けた研究会参加
- 7月10日 第3回開放型刑務所整備に向けた研究会来島ドック視察参加
- 8月16日 東海テレビ取材
- 8月19日 東京都高校生インタビュー(森 一馬さんご来所)
- 8月26日 (株)イマクリエイト訪問(VR 機材受取・作業レクチャー)
- 8月27日 東京都高校生インタビュー(初見 渚音さん・zoom)
- 8月29日 「さしいれ」全国版 vol.2 打合せ(zoom・(社)チーム・ヒューマンコメディ)
- 8月30日 第5回開放型刑務所整備に向けた研究会参加(リモート)
- 9月19日 第6回開放型刑務所整備に向けた研究会参加
- 10月15日 日本財団訪問 開放型打合せ リモート併用
- 11月25日 日法務省矯正局リモート打合せ(開放型)
- 12月4日 塀のない刑務所の整備打ち合わせ
- 12月19日 広報誌「さしいれ」打合せ
- 12月20日 開放型刑務所施設設計士打合せ(リモート)
- 12月25日 法務省矯正局訪問
- 1月8日 開放型刑務所入札説明(リモート)((株)アイデフ)
- 1月16日 開放型刑務所建設予定地視察

2月10日 開放型刑務所、法務省打合せ(リモート)
3月5日 開放型刑務所打合せ(リモート)
3月10日 広報誌「さしいれ」打合せ(リモート)
3月24日 開放型刑務所打合せ(リモート)
2025年
4月14日 塀のない刑務所整備に向けた準備会議(リモート)
4月14日 職親 HP 打合せ(業者)
5月2日 企業数システム打合せ(業者)
5月16日 塀のない刑務所整備に向けた準備会議(リモート)
5月27日 塀のない刑務所整備に向けた準備会議(リモート)
6月3日 塀のない刑務所整備に向けた準備会議(リモート)
6月20日 塀のない刑務所の整備に向けた有識者会議 東京
6月27日 東京佼成学園高校インタビュー(リモート)
6月30日 (株)ユナイテッドスポーツ契約更新打合せ(リモート)
7月1日 塀のない刑務所整備に向けた準備会議(リモート)
7月4日 国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター 梅崎氏ご来所
7月24日 日本財団・山崎氏建築物打合せ(リモート)
7月26日 国際ビフレンダーズ大阪自殺防止センター 所長訪問
8月6日 日本財団チャリティー自販機担当者ご来所
8月21日 職親アンケート打ち合わせ(人間環境大学山脇准教授)
8月25日 塀のない刑務所建設予定地熊本打合わせ(リモート)
9月12日 山崎建築事務所 山崎様ご来所
10月15日 日本財団訪問 開放型打合(リモート併用)
10月16日 山崎事務所訪問 東京
11月19日 「塀のない」刑務所整備会議(リモート)
11月21日 N 高等学校打合せ
11月25日 法務省矯正局リモート打合せ(開放型)
12月1日 山崎デザイン事務所訪問(「塀のない」打合せ)
12月22日 「塀のない」刑務所熊本分の打合せ(リモート)
12月25日 法務省矯正局訪問 東京
1月6日 「塀のない」刑務所打合せ(リモート)
1月8日 熊本支部長訪問「塀のない」刑務所の件
1月19日 「塀のない」刑務所打合せ(リモート)
2月18日 「塀のない」刑務所今後の方針についての会打合せ
2月27日 「塀のない」刑務所整備に向けた今後についての説明会 東京
3月4日 法務省保護局面談

- 3月4日 法務省矯正局面談
- 3月4日 法務省矯正局少年課面談
- 3月5日 日本財団職親プロジェクト再犯防止シンポジウム

【総括】

○これまで日本財団職親プロジェクトは、関西や九州では活発な活動が行われてきたが、全国組織としての活動が活発になってきた。その一つが、今までは、関西事務局や九州事務局と矯正施設が直接やり取りをして、様々な活動を行っていたが、2024年度・2025年度の取り組みによって法務省や、8矯正管区のコレワークとの取り組みが増加してきたことは、大きな成果であると考えられる。日本財団職親プロジェクトの取り組みが、全国で同じように実施され、さらには地域の特色も生かした取り組みがなされてきている事は、再犯防止と再チャレンジを目指し取り組んできたことが、国や地域とともに取り組むプロジェクトとなったことと言える。東京支部の発足をはじめ、全国実践発表会、シンポジウム、開放型刑務所の整備(塀のない刑務所の整備)など、出所者・退院者の雇用というだけでなく社会課題の解決のための活動となってきた。結果として、1,500社を超える企業の参加(2025年3月末)と1,879名の出所者雇用につながっており、再犯者の7割が無職であるという社会課題を解決するためにも大きく貢献できたと考える。

○全国組織としての日本財団職親プロジェクトだが、参加企業数の1500社には達したものの、参加企業の中には、サポート企業も多く含まれており、実際に雇用できる企業数は半数以下となる。今後は雇用ができる企業に多く参加して頂けるサポート体制を構築していく必要がある。また、雇用された出所者・退院者の短期退職も多く、再犯に至るケースも目立つようになってきている。就労継続のために必要な事を、データとして収集し分析しながら、効果のある雇用体制を構築していかなければならない。

○「塀のない刑務所」の整備に関しては、有識者会議から提言書の提出まではスムーズに進んだが、その後会議は重ねたものの、具体的進展がなく、事業延長の申請に至った。次年度は、整備に向け、法務省をはじめとした関係機関への働きかけを強くして取り組む必要がある。

【成果物】

1. メタバース仕事フォーラム(開催の様子)

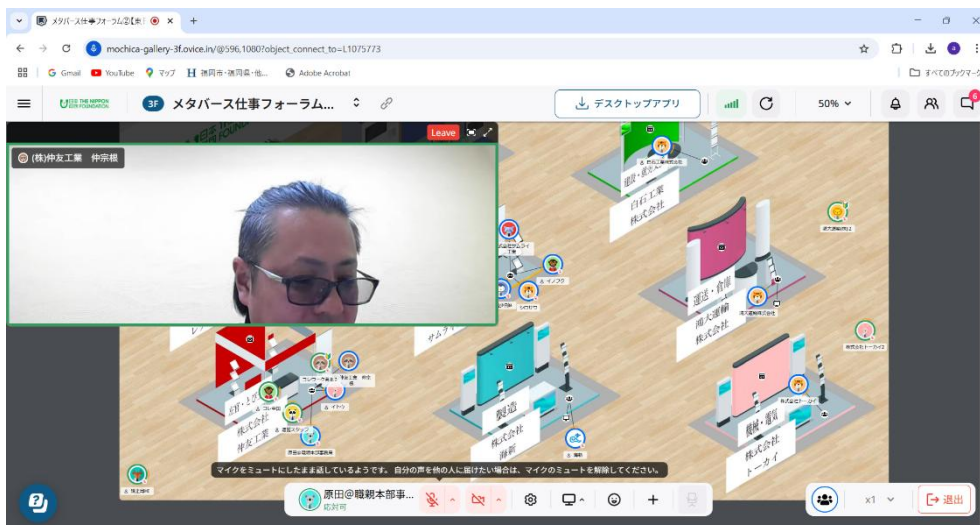
<メタバース仕事フォーラム 西日本>



<関東コレワークと協働>



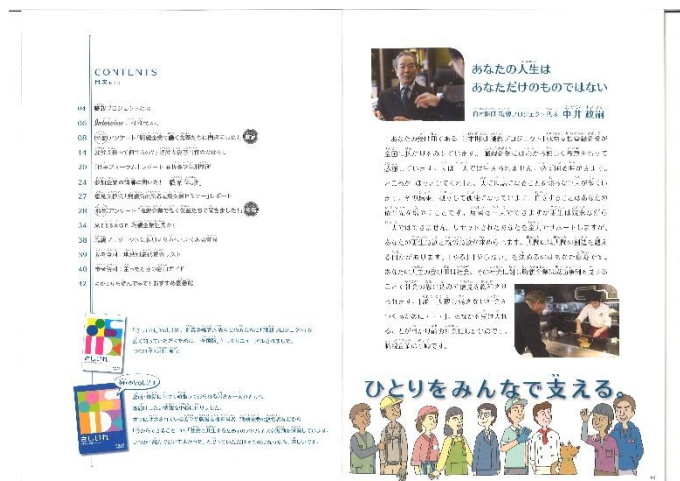
<メタバース仕事フォーラム東日本>



2. VR 職業体験(福岡刑務所矯正展)



3. 広報誌さしいれ Ver2



以上